

科目	電子決済論	担当	加藤 省三	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

電子マネーの普及に伴って、一般市場における電子決済が日常的に行われている。本授業では、電子マネーの仕組みやサービス、電子決済、法制度、経済面などについて、その考え方や事例を学ぶ。具体的には、電子決済、電子マネーの活用・流通・法制度・セキュリティ、銀行の信用創造、マネーサプライ、今後の動向などを講義するとともに、理解度テストを課し演習を行うことにより理解度を高める。こうした講義により、電子マネーを中心とした電子決済を取り巻くビジネスと知識が修得できる。

【履修注意】

- ・講義資料をWBTで配信するので、パソコンを毎回持参すること。また、本科目は、教職「情報」の必修科目である。
- ・毎回の講義の中で理解度テストを行い、その提出をもって出席とみなす。

【評価方法】

理解度テスト25%、中間まとめ30%、定期試験45%による総合評点で評価する。

【試験について】

筆記試験(中間まとめ、定期試験)を行う。

再試験対象者の条件: 不合格者のうち欠席5回以下かつ総合評点45点以上を対象とする。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針につき、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。また、各回提出した理解度テストについて、翌週に示す解答を参照して復習すること。

【教科書】

- ・購入教科書なし。講義資料をWBTで配信。

【参考書】

- ・書籍名:「電子決済ビジネス」 著者:野村総研電子決済プロジェクトチーム 出版社:日経BP社
- ・書籍名:「図解カードビジネスのしくみ」 著者:本田 元 出版社:中央経済社

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	ガイダンス、電子決済とは	シラバスおよび授業概要説明、電子決済の概要
2	電子決済の分類	クレジットカード、デビットカード、電子マネー
3	クレジットカードの安全性	安全性と暗号化、安全対策動向
4	ネットバンキング	ネットバンキングサービス、ネット専門銀行、銀行決済
5	電子マネーの活用	ネットバンキングサービス、ネット専門銀行、銀行決済
6	電子マネーの流通	クローズド・オープンループ型、少額決済
7	電子決済の新展開	電子マネーの相互利用、前半の重要事項整理
8	中間まとめ	前半の復習とまとめ
9	電子マネーの法制度	紙幣類似証券取締法、出資法、銀行法、プリカ法、資金決済法
10	電子マネーのセキュリティ	ICカード、電子マネーの安全性、暗号方式
11	銀行以外の為替業務	資金決済法、資金移動業者、収納代行サービス
12	銀行の信用創造	準備預金制度、信用創造、信用創造乗数
13	マネーサプライ	電子マネーの発行、マネーサプライへの影響
14	電子決済の今後の動向	少額決済、資金決済法、今後の動向
15	総復習とまとめ	全体の重要事項整理、授業アンケート
16	定期試験	総まとめ